

伝統の「山の神勧進」

今年は季節外れの雪の中で

季節外れの大雪に見舞われた4月2日、町に古くから伝わる「山の神勧進」が町内各地区で行われました。山崎地区では0歳から14歳までの男子13名が参加。ご神体を分担して運びながら約80軒を訪ね歩きました。最年長で大将の小野樹生くんは「大将は3年目。来年から参加できなくなるのは寂しいが、ずっと続けていってほしい」と話し、後輩たちへエールを送っていました。



▲玄関先では到来を告げるフレーズが大きく唱えられた

栄運輸と大商金山牧場の社員がごみ拾い ドライバーのマナーアップ願う

4月10日、栄運輸(株)と大商金山牧場の社員10名が下野明地区の県道沿い約2kmの区間で、ごみ拾いボランティアを行いました。13年前から雪どけ期に行っている活動。栄運輸(株)の阿部栄一代表取締役は「年々ごみが減ってきている。ドライバーのマナーの向上や環境美化に繋がれば」と活動の成果を実感していました。この日は1時間かけて、軽トラックの荷台半分程のごみが収集されました。



▲春の息吹を感じながらのごみ拾いボランティアとなった

▼きらびやかなお雛様を見てまわり贅沢な時間を過ごした



ゆるりと贅沢に雛めぐり 優雅に春の訪れを楽しむ

町内5会場で古今雛が展示公開された「まちなか雛めぐり」が4月3日、多くの賑わいのもと開催されました。秋田県から初めて訪れたという方は、カネカ邸の時代雛を見て「とても立派。こんなに綺麗な状態で残っているということがすごい」と気品あふれるお雛様に見とれていました。その他にも来場者は、お抹茶のおもてなしや限定の雛御膳を楽しんでいました。

▼11名の利用者とご家族の皆さんで記念写真



「かねやまハウス」が移転 旧金山保育園をリノベーション

指定障害福祉サービス事業所すぎのこハウス金山支所「かねやまハウス」の移転開所式が4月11日、移転先の旧金山保育園で行われました。綺麗にリノベーションされた新事業所を見て、利用者の皆さんは「広くて仕事がしやすい。引っ越しできてよかった」と笑顔。運営するNPO法人すぎのこハウスの沼澤恵一理事長は「広々とした空間でいきいきと感性を磨いてほしい」とあいさつされました。



くじら餅づくりを体験 イタリア食科学大の学生が金山で研修

4月11～12日、イタリア食科学大学の大学院生18名が、日本の伝統的な食文化を学ぶ研修として町を訪れました。研修生はくじら餅づくりを初体験。蔵の会が点てた抹茶を飲みながら、自作のくじら餅を食べると「イタリアにはない味。絶妙な甘さがとても美味しい」と絶賛。宿泊先のホテルシェーネスハイム金山では、町産の食材を使った料理や日本酒に舌鼓を打ちました。



▲食生活改善推進員の指導のもとくじら餅づくりに挑戦

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

元気いっぱい入園式 認定こども園に新たなお友達

4月6日、認定こども園めぐたまの入園式が執り行われました。新たに迎えたお友達は、乳児部(0～2歳児)19名、幼児部(年少から年長)22名の計41名。在園しているみんなも合わせて、今年は141名のお友達と元気いっぱい活動していきます！

1_パパ・ママとドキドキの入場！ 2_「ぼくのこと、呼んだ？」
3_元気にご返事できました！ 4_年少さんは19名が新入園

▼新入生を代表して誓いの言葉を述べる正野瑠奈さん



金山中学校入学式 新入生50名が新たなスタート

4月7日、金山中学校の入学式が挙行され、真新しい制服に身を包んだ新入生50名が新たなスタートを切りました。新入生の緊張をほぐすように「自分の意思を持って何事にも挑戦してほしい。見守りながら支えていく」と鈴木英樹校長が優しく激励。新入生代表の正野瑠奈さん(下野明)は「規則を守ることのできる金山中にふさわしい生徒になりたい」と誓いの言葉を述べました。